

平成18年度実績評価事務事業進行管理表

525-578

事務事業名	ふるさと農道緊急整備事業				財務会計上の位置付け	会計	款	項	目	細目	細々目	19予算額(千円)
部等名	建設部	課等名	土木課		包含する細々目	1	6	1	7	15	1	118,000
政策	4 暮らしと生命を守る安全安心して快適なまちづくり											
施策	44 交通機関と道路の充実											
実施区分	継続	会計	一般会計	環境調整会議	済み	ふるさと市町村圏計画 2-1-0 農道緊急整備事業						拠(起)ふるさと
		事業期間	6	年度	~	年度	関連計画条例等					

【Do】(1)この事務事業は次の目的を達成することを目指します。

目的の記述	対象(人や物、自然資源など)	対象の大きさを表す対象指標名と単位	対象指標の数値			
	沿線受益者。	受益者数(人)	現状又は19年度見込	23年度又は終了年度	23年度以前に終了は終了年度とする	
			8000	8000		
			現状又は19年度見込	23年度又は終了年度		
目的の記述	意図(成果は何か、対象をどうかえるか)	成果達成度を表す成果指標名と算定式・単位	成果指標の数値(実績・目標)			
	便利で安全に移動できる	整備率(%)=整備済み延長/計画延長×100	18目標	48.8(%)	最終目標	100
			18実績	50.4(%)	19目標	58.3(%)
			23目標	70.7(%)	23実績	
			18目標		最終目標	
			18実績		19目標	
		23目標		23実績		

(2)意図を達成するために以下のことを取り組みます。

手段の記述	事業の全体概要(補足説明)	具体的活動内容(やり方、手順、詳細)	活動量を表す名称・単位	活動量の値
	<p>・上郷東地区:上郷地区下段の国道153号が慢性的な渋滞のため、本路線に交通が分散し、大型車等の通行により沿線農耕者の農業用機械の移動・生産物の運搬に支障を来している状況である。幅員の拡幅・歩道等の整備をし営農者の利便性向上・安全確保を図る。総延長 L=2,350m W=10-16m 矢崎工区 L=390m 用地買収A=4,010㎡ 物件補償=建物など9件</p> <p>・北部山麓地区:土曾川により分断されている上郷、座光寺の上段地区を結ぶ路線であり、山田ランドから湯が洞橋までの間の道路を築造する。L=3200m</p> <p>・湯川地区:R153号との交差点改良</p>	<p>・上郷東地区:矢崎工区に関わる地権者との用地・補償交渉を早期に進める。 工事実施 L=43m</p> <p>・北部山麓地区:上郷地区の工事実施 L=146m W=9.0m</p>	<p>工事施工延長(m)</p>	189m
		<p>・上郷東地区 矢崎工区 用地、物件補償 工事 L=390m</p> <p>・北部山麓地区 上郷工区 工事 L=50m</p>	<p>工事施工延長(m)</p>	440m

<金額の単位:千円>		18決算額(見込)	19予算額(当初)
事業費	特定財源		
	国庫支出金		
	県支出金		
	起債	216,000	106,200
	その他		
一般財源	24,000	11,800	
事業費計(A)	240,000	118,000	
人件費	正規職員所要時間	18年度 600	19年度 600
	臨時職員等所要時間	90	90
	人件費計(B)	2,242	2,242
	トータルコストA+B	242,242	120,242

特定財源内訳や補足事項	ふるさと農道緊急整備事業債 75% 財源対策債 15%
-------------	--------------------------------

(3)この事業目的の達成は、次の上位(施策や主体の役割)目的の達成に結びつきます。

目的の記述	結果 この事務事業の施策(基本事業)の目的	上位成果指標(施策又はムトス指標)と単位	上位成果指標の数値			
	事業者等が出荷額等を高める活動をする。	既存農業者の産出額(農業)・億円	現状値	121	19実績	
			20実績		21実績	
			22実績		23目標	139.1
			現状値		19実績	
			20実績		21実績	
		22実績		23目標		

<p><b>この事業を開始したきっかけ</b></p> <p>ふるさと農道緊急整備事業により、平成5年度より始まる。(90/100起債) 国道153号線の交通量分散を目的とする。 下伊那郡北部竜西地区の山麓地域を縦につなぎ農業振興をはかる。</p>	<p><b>事業を取り巻く状況の変化</b></p> <p>国道153号飯田バイパスの開通により交通量が増加し、早期完成が急がれる。 松川町、高森町分は既に完成し、飯田市分が残されている。</p>	<p><b>事業に対する市民や議会の意見</b></p> <p>地元自治会をはじめ関係者の事業に対する意識は高く早期完成を望む声強い。</p>
--	--	---

**【See】18年度の振り返り**

<p><b>目的妥当性評価</b></p>	<p>この事業の意図の達成が、結果(上位目的)に結びついていますか？</p>	<p>(評価) <b>結びつく</b> (その理由) 営農従事者の交通安全が確保されるので、農業振興に結びつく。</p>	<p><b>有効性評価</b></p>	<p>成果をさらに向上させる余地はありますか？</p>	<p>(評価) <b>余地がある</b> (その理由) 計画している道路のルート及び幅員(構造)が最適であるかの検討。</p>
	<p>対象の見直し、拡大、縮小の必要性はありますか？</p>	<p>(評価) <b>必要性がない</b> (その理由) 人口の急変はない。</p>		<p>廃止・休止した場合の影響はありますか？</p>	<p>(評価) <b>影響あり</b> (その理由) 歩行者(営農従事者)の安全確保が困難となる。</p>
	<p>意図の見直しの必要性はありますか？</p>	<p>(評価) <b>必要性がない</b> (その理由) 歩行者の交通安全が第一である。</p>		<p>他に類似事業はありますか？また統合の可能性はありますか(市以外の取組も含む)？</p>	<p>(評価) <b>統合可能</b> (類似事業名、理由) 地方道路交付金事業、地方特定道路整備事業、幹線道路改良事業が可能であるが、現時点では農サイドの有利な起債事業がベストである。</p>
	<p>市が関与する必要性はありますか？(市が税金を投入すべき事業ですか)？</p>	<p>(評価) <b>必要ある</b> (その理由) 市が整備すべき農道である。</p>		<p><b>効率性評価</b></p> <p>成果を下げずに、事業費や人件費の削減は可能ですか？</p>	<p>(評価) <b>不可能</b> (その理由) 事業費の削減については、工法の検討により可能であるが、人件費については、用地・補償交渉に不測の日数を要するため困難である。</p>
				<p><b>公平性評価</b></p> <p>受益者は誰ですか？また、負担の是非、程度は妥当ですか？</p>	<p>(評価) <b>妥当である</b> (受益者とその理由) 受益者及び不特定多数が利用する公共の道路であり受益者負担はない。</p>

**【Plan】改革改善**

<p><b>今後の事業の方向性</b></p> <p><input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的見直し <input type="checkbox"/> 別事業に統合 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持</p> <p>実施年度 <b>具体化</b></p>	<p><b>何を、いつまでにどうするのかの改革改善案</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・上郷東地区：東西方向のルートについて事業実施を含め検討をして行く。</li> <li>・北部山麓線：米の原地区の入り口付近の用地取得済みの区間までの施工を進める。それ以降の座光寺方面の実施を検討して行く。</li> </ul> <p>上記の改革改善案を実施する際、想定される課題とその克服方法</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・県道伊那生田飯田線の改良計画と国道153号線の計画において情報集を行い整合を図る。</li> <li>・土曽川にかかる橋梁の必要性について、道路ネットワークと合わせ検討する。</li> </ul>
---	--

**【補足事項環境側面】**

<p>(1) 環境影響評価の必要性判断</p>	<p>必要性がない</p>	<p>(2) 必要性な場合の実施事由</p>
<p>(3) どのような点に配慮し事業に取り組みましたか？</p>		

**【指摘事項】**

<p>施策マネジメント会議</p>	
<p>施策評価会議</p>	
<p>第5次基本構想基本計画推進委員会</p>	